

## 令和5年度対話の広場（横須賀三浦会場）「ブルーカーボンin三浦半島」 いただいたご意見等への対応状況等

【対応区分】

- A: “対話の広場”をきっかけに、新規の計画・事業を検討する(対応する方向である)
- B: “対話の広場”をきっかけに、既存の計画・事業の見直し等を行う(対応する方向である)
- C: “対話の広場”開催時点にて、既に実施している(既に対応している)
- D: 特に対応を予定していない。

参加者No.	関係所属名	参加者からの主な意見等	対応区分	対応状況(R6.2.22時点)
2	環境農政局 水産課	私は2年前から、海藻についてのドキュメンタリー映画を撮影しています。神奈川県というのは、先ほど知事もおっしゃったように、海が非常に豊かな場所でありつつも、都市と非常に近い、東京と非常に近い地域でもあるので、その利点を生かして、都市部の皆さんに、もっとこの状況を知っていただいて、ブルーカーボンという形なのか、様々な形で再生支援をしていただけるような活動をぜひ、神奈川県単位、地域単位でやっていただければなと思っています。	C	漁業者、地域住民、NPO団体等が行う藻場再生等の取組に対する支援を行っています。今後は、県の他の所属と連携し、多くの県民の皆様にも藻場再生の必要性やブルーカーボンの効果を知っていただくため、情報発信等に取り組んでいきます。
4-2	環境農政局 脱炭素戦略本部 部室	東京都と川崎市が2025年から新築の戸建住宅に設置義務化をするのですが、その義務化の対象となっている大手ハウスメーカーの9割が、神奈川県にも戸建住宅を提供している。新築の戸建住宅から、太陽光パネル普及させるという政策を進めていただけないか。	C	太陽光発電の設置義務化については、今後の太陽光発電の導入状況や、国内外の実施状況等を踏まえ、義務化の必要性や効果等について検討します。
4-3	環境農政局 脱炭素戦略本部 部室	ペロブスカイトの実証実験は、今始まっている段階で、ただ再エネを増やすためには、2030年までが鍵って言われています。今ここにいる高校生ですとか先ほど出ていた小学生が30代になる前に温暖化の未来が、決まってしまうんですね。なので、今、確実に普及できる太陽光パネルを設置して可能な限り、再生可能エネルギーを増やしていくってことを、今ここで約束していただけると、僕もここにいる子供たちの未来も、少しでも安心な社会になるかなと思う。	C	県は、東日本大震災を契機として、全国に先駆けて再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んできたところであり、現在改定作業を進めている神奈川県地球温暖化対策計画の改定案では、太陽光発電設備について「2030年度までに200万kW以上導入」という目標を掲げています。この目標を達成するため、県民・企業向けの導入支援や普及啓発を強化するとともに、県庁の率先実行として、県有施設への太陽光発電の導入を加速させます。
7	環境農政局 水産課	神奈川県の漁業っていうのは環境の変化とか、そういう水温の変化でちょっと衰退傾向にありますけど、そういう最近の漁業はブルーカーボンとかと関連付けて先進的な取り組みをして、立ち直っていったり利益の向上を図ったりしていますけれど、知事さんが思う今後の神奈川県の漁業の形を、教えていただけると嬉しいです。	C	海洋環境の変化などの影響により漁獲量が減少する中、天然の水産資源に依存せず、計画的に生産することができる養殖業を振興しています。また、漁業者の所得の向上を図るため、海業(漁業を核に商業、観光、教育等の分野を結び付けた複合的産業)を推進していきます。